

# 経済学部履修モデル(2014年度以降の入学用)

**想定モデル4**(将来は証券アナリストや金融リサーチャーになることを目指して学修計画を設計)

- スペシャリストコースでは、金融ファイナンスと企業会計にチャレンジ。
- 初修外国語の選択はフランス語。
- 学際や教養では情報や統計に力を入れる。+情報分析プログラムにチャレンジ。

※4年次(第7・第8ターム)は卒業研究(必修)に専念することが重要。

- ※CE=College English
- ※CE (L & S)=College English (Listening and Speaking)
- ※CE (R & W)=College English (Reading and Writing)
- ※スペシャリストコースのうち、  は企業会計、  は金融ファイナンス。
- ※イタリックは情報分析プログラム科目。

	要卒 単位	プレ・ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7, 8ターム	修得 単位
<b>履修教養カリキュラム全体</b>	<b>34</b>								<b>34</b>
<b>桃李成蹊、人間形成系統</b>	<b>20</b>	フレッシュヤーズ・セミナー フレッシュヤーズ講座 情報基礎 健康・スポーツの基礎	キャリアプランニング				日本企業の現状と展望		<b>20</b>
<b>うち英語</b>	<b>9</b>	Freshers' English CE (L & S) I CE (R & W) I	CE (L & S) II CE (R & W) II	CE (Global Topics) I CE (Local Topics) I	CE (Global Topics) II CE (Local Topics) II				<b>9</b>
<b>文化創造系統</b>	<b>14</b>	異文化理解A	フランス語基礎A I フランス語基礎B I	フランス語基礎A II フランス語基礎B II 科学的に考える(文系のための数学)	科学技術の発達と歴史(前)	政治学の基礎(前後)	裁判と社会(後)		<b>14</b>
<b>経済学部科目全体</b>	<b>74</b>								<b>90</b>
<b>演習科目</b>	<b>8</b>					上級演習 I	上級演習 II	卒業研究	<b>8</b>
<b>コアA群</b>	<b>10</b>	マクロ経済学入門 I ミクロ経済学入門 I 会社入門 統計入門	マクロ経済学入門 II ミクロ経済学入門 II 企業経営入門 企業会計入門						<b>16</b>
<b>コアB群</b>	<b>14</b>			ファイナンスの基礎 ミクロ経済学	ゲーム理論 マクロ経済学	人間行動と組織	金融経済学 国際経済学		<b>14</b>
<b>経済学応用発展科目</b>	<b>12</b>								<b>12</b>
<b>うちA群</b>	<b>2</b>						情報の経済学		
<b>うちB群</b>	<b>2</b>				日本の金融制度		国際金融		
<b>うちC群</b>	<b>2</b>			土地と住宅の経済学		年金の経済学			
<b>D群</b>							現代日本経済		
<b>経営学応用発展科目</b>	<b>12</b>								<b>18</b>
<b>うちA群</b>	<b>2</b>				経営戦略				
<b>うちB群</b>	<b>2</b>			人的資源管理					
<b>うちC群</b>	<b>2</b>			管理会計 財務会計	証券市場	資産選択の意思決定 財務諸表論	コーポレートファイナンス コストマネジメント		
<b>D群</b>									
<b>学際基礎、学際、高度学際</b>	<b>10</b>		プログラミングの基礎 統計学	情報分析演習 I マルチメディアプレゼンテーション	情報分析演習 II マルチメディアプレゼンテーション データの活用	情報分析演習 III エコノメトリクス入門 経営情報分析	情報分析演習 IV		<b>22</b>
<b>修得単位数合計</b>	<b>124</b>		<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>4</b>	<b>124</b>